

射水市立太閤山小学校学校活動報告

◆活動・取組みの紹介

なかよし橋(歩道橋)の清掃

5月18日(日)にボランティア委員会と太閤山9丁目の児童19名と保護者が、なかよし橋の清掃を行いました。太閤山消防分団の方々も手伝いに来られ、消防ポンプ車のホースで橋に水を撒いてくださいました。ブラシやたわしで橋を磨くと、1年間の汚れが落ちてぴかぴかのなかよし橋に生まれ変わりました。子供たちは「きれいになると気持ちいいね」「地域の人と一緒に橋をきれいにできてよかった」と明るく話していました。



なかよし橋をブラシでこする児童

毎月1日・15日のアルミ缶回収

毎月1日・15日の朝にボランティア委員会の児童9名が、児童玄関でアルミ缶の回収を行いました。回収日を伝えるお便りを作ったり、前日に放送したりして活動に協力してもらえるように全校児童に呼びかけました。回収後には、アルミ缶の重さを量り、どれだけ集まったかを全校放送で知らせました。協力してくれた人には折り紙で作った花やしおりを渡し、喜んでもらいました。回収したアルミ缶はいみず苑に送りました。



アルミ缶を持ってきてくれた児童に折り紙を渡すボランティア委員

その他の取組

校内では、ボランティア委員会が11月に赤い羽根共同募金、1月に書き損じはがき回収を全校に呼びかけました。また、地域の老人福祉施設の方へ自作の年賀状を送るなど、地域との交流を行いボランティア意識を高めました。

◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

どうやったらみんながボランティアに参加してくれるか考えながら活動することができました。

赤い羽根募金の協力をお願いするポスターづくりで、見やすくなるように工夫しました。喜んでもらえる嬉しかったです。

◆最後にひとこと

校内での取組を通じて、誰かのために働く喜びを味わい、主体的に活動に取り組む姿が見られました。今後も人とのつながりを大切にしながら、助け合いの精神が一層育まれるように、子供の思いに沿った活動を工夫していきたいと思えます。